

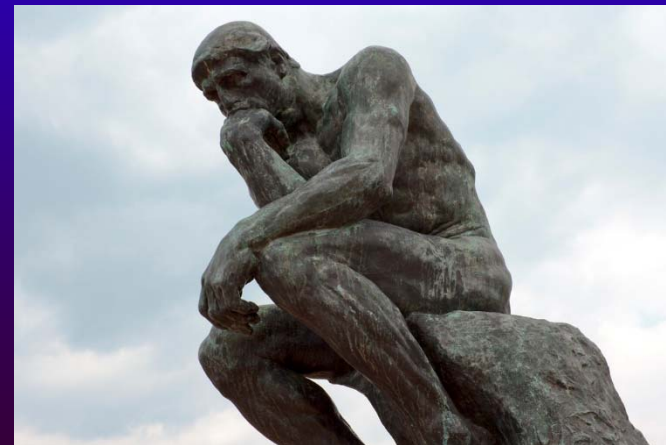


人生100年 シニアプログラム
ム

あれから10年 これから30年
団塊軍団プロジェクト

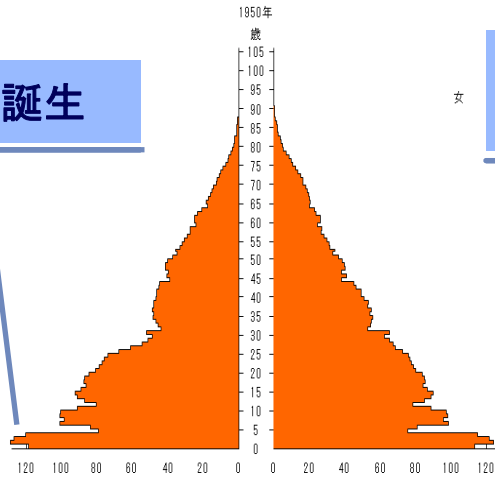
団塊軍団の立ち位置は

- 10年前・・・団塊世代 還暦を迎える
- 今・・・古希を迎える 社会のお荷物となるか？
- これから・・・安倍晋三さんは人生100年とつぶやいている
- どーする・・・体力・知力・貯え・・・少しある
- 30年分のシニアプログラムの構築
- 身の回りで、できることは？！？！



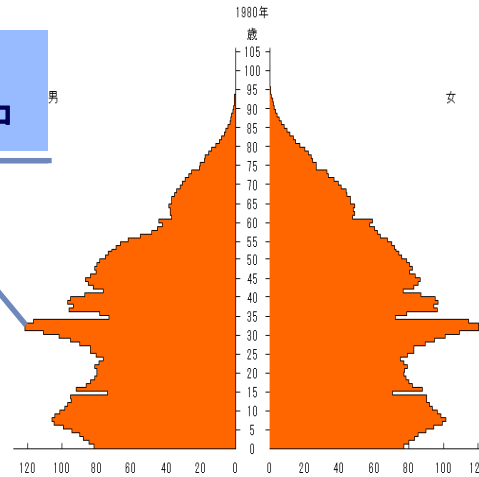
《団塊世代の生涯》

誕生



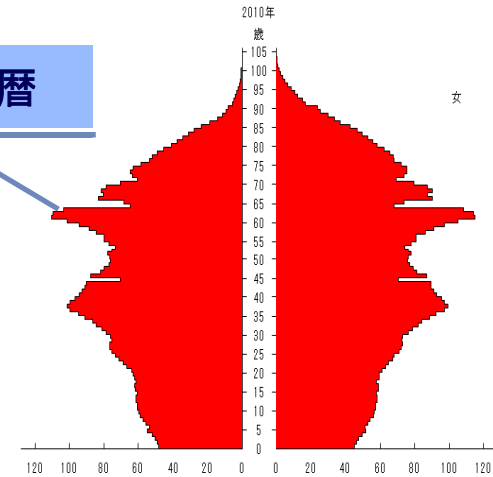
1950年

仕事
真最中



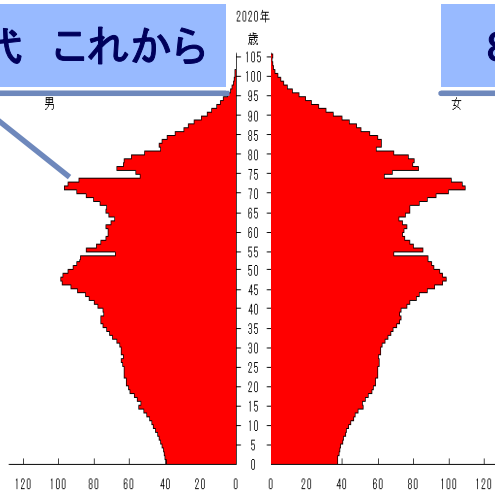
1980年

還暦



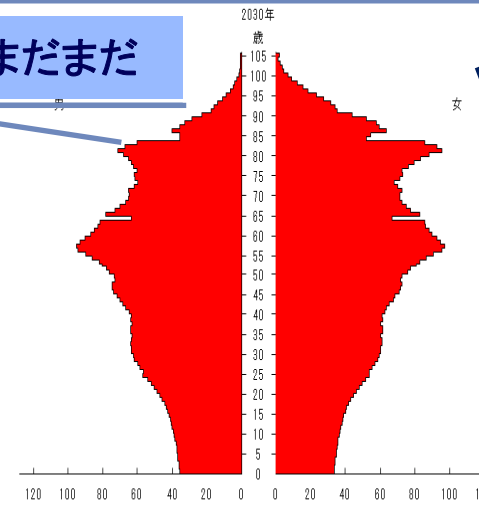
2010年

70代 これから



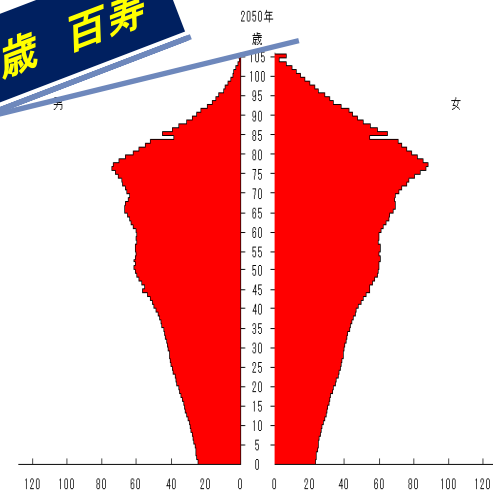
2020年

80代 まだまだ



2030年

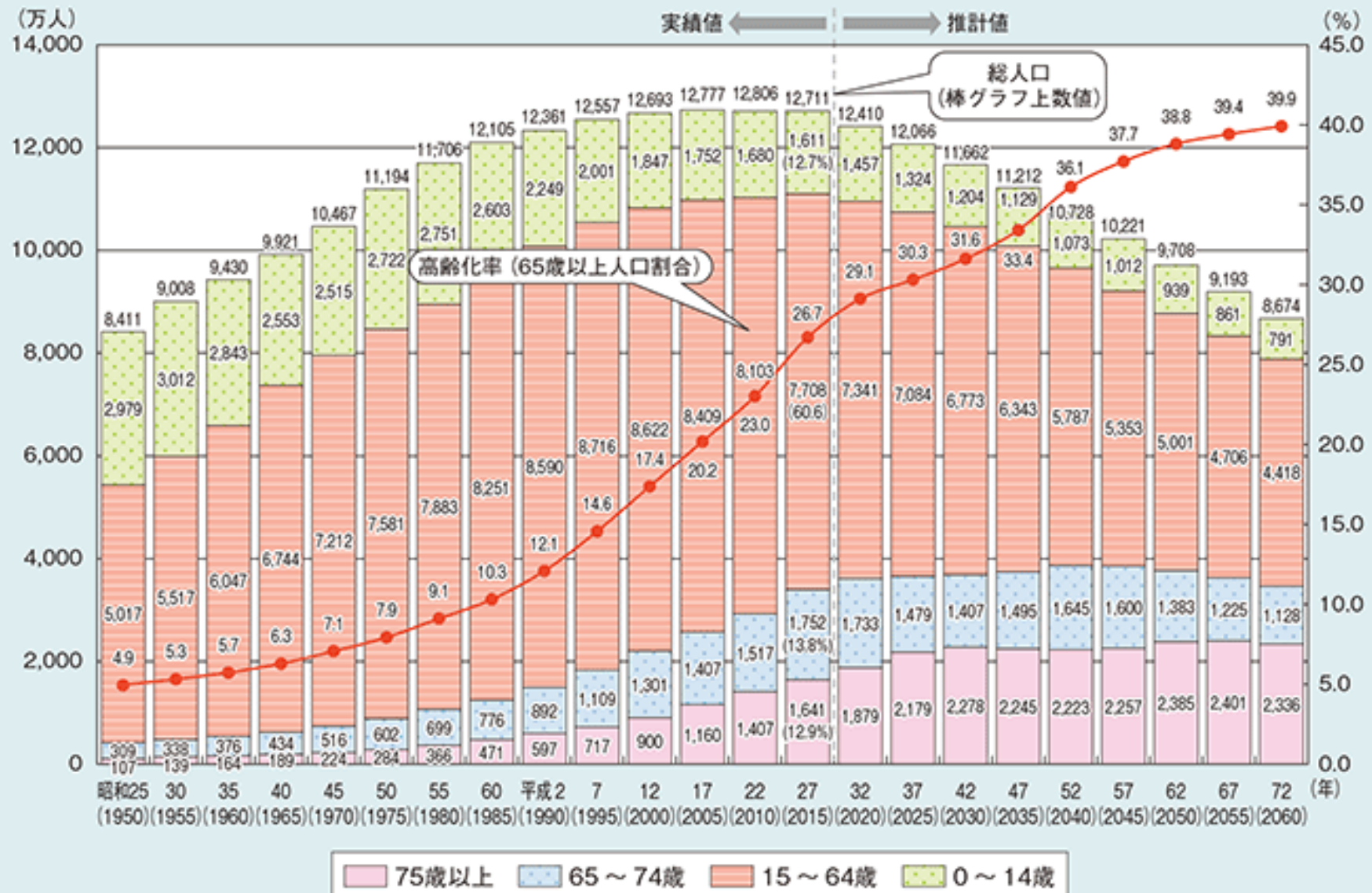
100歳 百寿



2050年

高齢化の推移と将来推計

出典：内閣府高齢社会白書



高齢者のすがた、仕事・家計・娯楽

出典：総務省報道資料 平成29年9月

■ 高齢者の人口（人口推計）

- 総人口が1年で21万人減少、高齢者は57万人増加 割合は27.7%
- 90歳以上人口が200万人を超える
- 高齢者人口の割合は、世界で最高

■ 高齢者の就業（労働力調査）

- 就業者数は、13年連続で増加し、770万人と過去最多
就業者総数に占める高齢者の割合は、11.9%と過去最高

■ 高齢者の家計（家計調査、家計消費状況調査）

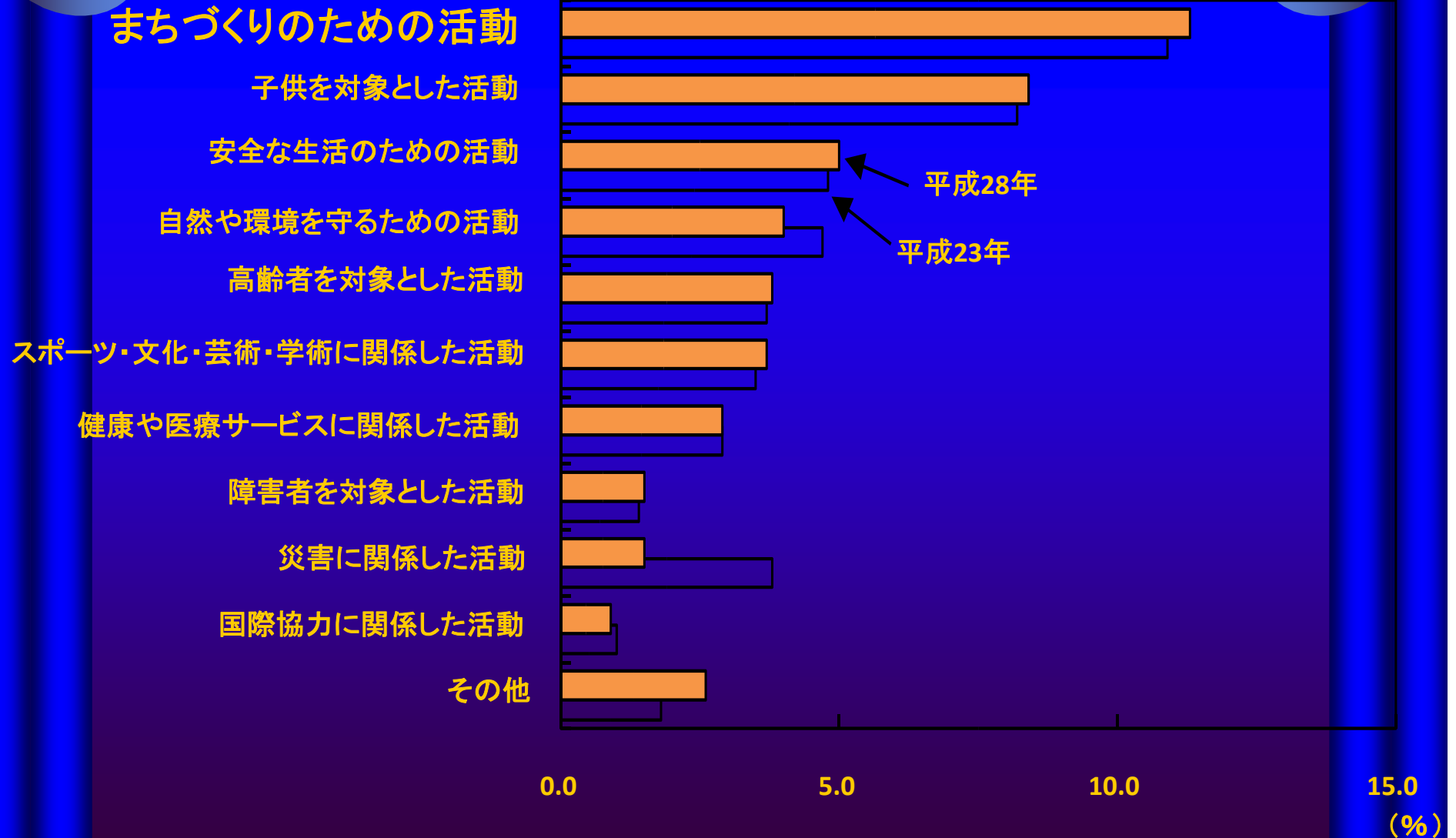
- 交際費、保健医療への支出割合が高い高齢者世帯
- 高齢者世帯の貯蓄現在高は1世帯当たり2394万円
- 10年間で2.9倍に上昇した高齢者世帯のネットショッピングの利用

■ 高齢者の暮らし（社会生活基本調査）

- 趣味・娯楽は「園芸・庭いじり・ガーデニング」が最も多い

社会生活(自由時間)の主な活動

出典:総務省統計局資料



☆団地暮らしの団塊世代 これから30年の課題と目標

①環境づくり: 高齢者団地の活性化

老朽化するまちを自らの手で再生

②仲間づくり: 社会貢献・ボランティア

引きこもり老人・文句老人にならない

ために、新たなお付き合いと見守り隊

③家族づくり: 孫世代へのふるさとづくり

団塊世代が失ったふるさとを

孫の世代に創生



これから30年のための提案

&&& 団塊軍団プロジェクト &&&

☆其の壹:三世代が集えるまちづくり

終の棲家(まち)のふるさとづくり
まちづくり特区制度の創設

☆其の貳:三世代のお出かけ支援

学習・行楽などへの家族お出かけを支援
三世代が同時利用できる優遇制度の創設

☆其の壱：三世代が集えるまちづくり

ターゲットは、都市部の戸建て大型団地

☆団塊世代が40歳代で住み始めて30年の課題

- ⇒高齢化：中山間地域並み 少子化
- ⇒希薄な隣人関係、買い物難民、医療難民、避難難民
- ⇒利用度の低い団地内施設（集会所、公園）
- ⇒荒れる街路と緑地環境

そこで

☆提案① 終の棲家（まち）のふるさとづくり
「まちづくり特区制度の創設」

☆提案① 終の棲家(まち)のふるさとづくり 「まちづくり特区制度の創設」のイメージ

・公園・街路の利用・整備・管理を住民主体に！

現在の都市公園は、イベント等の利用に際しては制限が多い

👉これを、近隣公園・地区公園(利用圏域半径500m~1km、面積2ha~4ha)に対して、三世代が集いやすく多様な使いが方できる仕組みにする。EX.団地近郊の遊休農地などのシェアによる住民生産の野菜販売なども可能にする。フリーマーケット、地域カフェ、月見会、演奏会などの新規イベント開催

☆担い手の育成・組織化・・・子供会・青年団・壮年団・婦人会・老人会 ☆子供の心に残るイベント:夏祭り・餅つき・ハロウィン ☆災害時の一時避難所 ☆情報発信基地

☆「三世代まちづくり宣言」団地(自治会)に対してまちづくり交付金や公園事業・街路事業等の連携による行政支援の拡充を図る。

☆ 其の弐: 三世代のお出かけ支援

ターゲットは、新たなふるさとに集うファミリー

☆ 核家族時代から三世代家族への課題

- ⇒ 味噌汁の冷めない距離での見守り関係
- ⇒ 世代間断絶の解消、互いを尊重した機会づくり
- ⇒ 暖かい家族づくりを、友好的近隣関係に繋げる
- ⇒ 緑地協定などで整備された緑地環境の維持管理の伝承

そこで

☆ 提案② 学習・行楽などへの三世代お出かけを支援する優遇制度「三世代チケットの創設」

☆提案②学習・行楽などへの三世代お出かけを支援する優遇制度「三世代チケットの創設」

・三世代ふれあい活動機会の拡大！！

核家族化、少子化、超高齢社会に加えてパソコン・スマホ・ゲーム依存問題などが、家庭内や近隣対話の希薄化や地域活動の停滞をまねいている。

👉 これらの問題を解消するために、「三世代まちづくり宣言」団地の住民に対して、家族総出の活動機会を行政（関係団体）などが支援する。

- ・ 対象活動内容：①交通費の一定額補助（福岡市の「交通用福祉ICカード」の拡大イメージ） ②施設入場料等の一定額補助
- ・ 支援方法：三世代写真入り申請書により、「三世代カード」の発行